

愛知国際病院広報誌

みやまみやま

vol.82

特集 About us

愛知国際病院で  
働く仲間たち





Message for you



愛知国際病院は、1981年4月に川原啓美先生、川原暁子先生が、アジア保健研修所と共にこの南山(みなみやま)の地に始められた病院です。「神癒し我ら仕える」をモットーに、キリスト教精神に基づく全人的医療を行い、アジアの健康のことを考え、地域に根ざし支えられる病院として歩んできました。

広報誌「みなみやま」もみなさまにその思いを伝えるものとして始まりました。今回から装いを新たに、愛知国際病院のことをお伝えできるようにしてまいります。これからも共に歩む病院として、よろしく願いいたします。

愛知国際病院 院長 太田 信吉

Cover Story

～ホスピスのラウンジにて～



患者さんにとって第2の家でありますように。そんな思いで、スタッフは一瞬一瞬を大切に、共に時間を過ごしています。

# 愛知国際病院で働く仲間たち

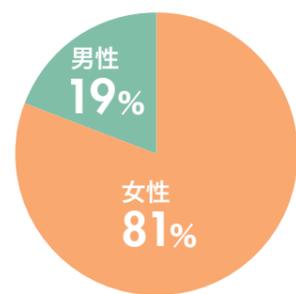
患者さんやそのご家族に安心の医療をお届けするために  
当院ではさまざまなプロフェッショナルが働いています。

## 女性が活躍する職場

愛知国際病院で働く人は総勢138名※。最も多いのは看護部で、約半分を占めています。男女別では、全体の8割が女性、特に看護部は9割以上が女性です。その背景には、産休・育休制度に加え、保育手当、子育て支援制度など手厚いサポートがあり、育児と仕事を両立しやすい職場であることが挙げられます。

※2016年8月現在

### ■男女の比率(2016年8月現在)



### [地域医療福祉連携部]

9名

他の医療機関や患者さん、病院との橋渡し役です



### 愛知牧場

すぐ南には愛知牧場が広がる、のどかな環境です



### [看護部] 66名

■外来 ■一般病棟 ■ホスピス病棟

看護師にとって3つの職場から選べるのも魅力です



### [事務部] 20名

(総務、受付)

いつも笑顔とまごころを大切に



### 愛知国際病院

### ホスピス病棟



### [診療部] 43名

医局16名  
(医師、医師事務作業補助)

全部で11科目が揃っています



### 医療技術課 27名

- 臨床検査科(臨床検査技師)
- 東洋医学科(鍼灸師) リンパドレナージュという療法も行っています
- リハビリ(理学療法士、言語療法士、作業療法士)
- 放射線科(放射線技師)
- 栄養科(管理栄養士) 栄養とおいしさの両立を大切にしています
- 診療情報(診療情報管理士)

### 関連施設

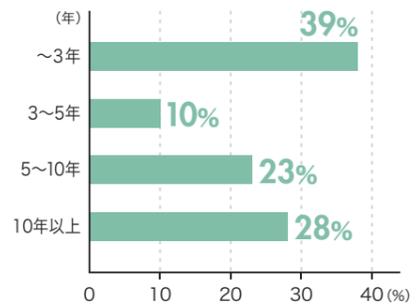


- AHI(アジア保健研修所) アジアの医療従事者を育てています
- 老人保健施設 愛泉館
- 指定住宅介護支援事業所 愛泉館
- 訪問看護ステーション えまい
- 日進市東部地域包括支援センター

愛知国際病院の原点!

その他近隣の連携施設と合同で毎年ボーリング大会を開催!

### ■勤続年数の比率(2016年8月現在)



バランスのよい構成  
勤続年数で見ると、5年未満が約半分、5年〜10年が約2割、10年以上が約3割となっており、伸び盛りの若手層、仕事に慣れてきた中堅層、若手を指導するベテラン層がバランスよく構成されていることが分かります。

愛知国際病院で働く仲間たち

## 職場のこと、仕事のこと。

患者さんにも  
職場の仲間にも  
優しい気持ちで



2006年入職

病棟看護師 副主任  
柏木 真紀

JOCs(日本キリスト教海外医療協力会)の会員である私は、インド・ネパール研修などを通じて故川原先生のことを知り、感銘を受けたことが入職のきっかけです。スタッフは皆「患者さんのために」という優しさを持っており、協力し合い、助け合って働いています。これからも自身の健康管理を怠らず、患者さん主体の看護を心がけていきたいと思っています。



いい仲間に出会って  
職場に行くのが  
毎日楽しみです



2013年入職

医師  
川口 レオ

感染症研究に従事していましたが、東日本大震災を機に「臨床現場で働きたい」と、キリスト教精神に基づき当院に入職しました。「自宅へ帰りたい」というある入院患者さんの希望を叶えようと、職種を超えて知恵を出し合い、外出を実現したことがありました。治療だけでなく、患者さんの幸せのために喜んで協力する。そんな仲間と働けることをうれしく思います。

「ありがとう」と  
言われるうれしさ  
改めて実感しました



2012年入職

臨床検査技師  
米津 直見

血液検査や尿検査などさまざまな検査を行っています。資格取得後、10年以上のブランクを経ての転職は不安でしたが、先輩方の指導のおかげで、今はとても仕事が楽しく、やりがいを実感しています。理事長や院長を始め、上下のカベのないフレンドリーで温かい職場です。だれかに「ありがとう」と言われることが、こんなにも重みがあり、うれしいものだと思われました。



患者さんのために  
なるか、ならないか  
それが判断の基準



2010年入職

総務  
太田 一道

IT分野の整備、各部署間の連携、会議・委員会の運営など、さまざまな人と接する機会が多い仕事です。まだ訪問看護が一般的でなかった頃から地域のニーズにこたえて取り組みを始めた時、県下初のホスピスを設けたりと、先人たちが大切にしてきた「医の心」を伝えていきたいと考えています。また、海外での医療をサポートする「国際医療支援室」の活動にも力を入れています。

地域で行う「健康講座」とか  
診療以外の役目も大事にしたい。



1998年入職。日本外科学会(専門医)、日本消化器外科学会(認定消化器がん外科治療認定医)、日本消化器病学会 日本臨床外科学会、日本消化器内視鏡学会、日本胆道学会、日本痔瘻学会(認定士)

看護師長 川口 順子

医師 河村 健雄

暮らしに寄り添うために。  
地域医療連携室のできることに。

河村 3年前に地域医療連携室が立ち上がったから、一緒に患者さんのご自宅を訪問する機会が増えました。が、何か感じることはありませんか。

川口 当院では早くから訪問看護を行っていましたし、連携室が立ち上がる前から訪問診療もあったので、自然な流れと受け止めています。医療の高度化にともない「病院での看取りが当たり前」という考えが広まりましたが、超高齢化社会で在宅医療の比重が大きくなるにつれて、看取りへの考え方も変わっていくのではないのでしょうか。

河村 だからこそ私たち医療従事者は、ご家族との信頼関係をしっかりと築いていく必要がありますね。ご自宅にお邪魔するわけですから、

川口 「自宅にいて大丈夫かしら?」という不安を抱えていらつしやる方は多いので、例えば入院中から、医師や看護師が在宅医療についてお伝えして理解を深めておくと、移行もス

ムーズかと思えます。在宅生活をサポートするケアマネージャーさんや訪問看護ステーションとの密な連携も不可欠なので、できるだけコミュニケーションを図るようにしています。

河村 救急医療や高度医療が中心の大病院は、退院後のケアが十分でないのが実状です。でも当院のような規模の病院は、小回りがきき、地域との連携も取りやすい。ホスピスもできるので、医療の多様な選択肢を提供できる。当院の役割はさらに広がるでしょう。

川口 はい。医師と看護師が地域に届けていく「健康講座」もぜひ継続していきたいですね。大げさかもしれませんが、地域の人たちの健康を支えたり、病気を予防したりと、いろいろな形で地域とつながっていくことが大切だと思います。

河村 地域医療連携室の仕事はますます増えそうですね(笑)。マネージメントの方もよろしく願っています。

いろいろな形で地域と  
つながることが大切なんです。

2002年入職。外来、一般病棟を経て、「地域医療連携室」の立ち上げから携わり、2014年同連携室へ。訪問診療の同行やソーシャルワーカーとの連携、地域医療連携室のマネジメントなど、仕事内容は多岐にわたる



地域交流セミナー『やっぱり家で暮らしたい』

【日時】2016年12月3日(土) 14:00~16:00  
【場所】愛知国際病院ホスピス研修室

参加費  
無料

【第1部】事例紹介「骨折からの在宅復帰」

骨折・入院を経て愛泉館に入所され、自宅生活を見据えた3カ月間のリハビリテーションの成果で、再び住み慣れたご自宅での生活を取り戻された方の事例をご紹介します。

【第2部】参加型セミナー「転倒しない身体づくり」

身体が原因の転倒は、毎日簡単な運動を続けることで予防でき、環境が原因の転倒は、自宅や外出先のどこに危険な箇所があるのかを知っているだけで、防ぐことができます。

お申し込み・お問い合わせ ☎0561-74-1711 (担当/浅井)



遺言書の書き方 講座

自分の「最期」をどう迎えるか。すべての人に大きな課題です。心の準備もしたい、残していくものをどうするかも考えたい。大切な人たちに「ありがとう」や、心からのメッセージも伝えられたら…。

【日時】2016年11月12日(土) 10:00~12:00 【講師】平良 一器(司法書士) 【定員】20名

相続登記 【日時】2016年11月26日(土) 10:00~12:00

無料相談会 【定員】4組(一組:30分)※基本的な内容に関する相談会となります。

【場所】アジア保健研修所(AHI)

日進市米野木町南山987-30(愛知国際病院となり)

お申し込みは、事前予約を  
願います(電話またはE-mail)

☎0561-73-1950

✉info@ahi-japan.jp (担当/羽佐田)

参加費  
無料

地域交流セミナー開催  
第1部では、骨折・入院を経て、在宅復帰された方の体験談、第2部では、ご自身でできる毎日の体操や、あなたの近くに潜んでいる転倒の原因になる場所を分かりやすくお伝えします。

老人保健施設 愛泉館

講座「遺言書の書き方」

「遺言書」を書くことは、人生を振り返り、この社会の中で自分を考えること。優しい言葉で、「遺言書」の考え方や書き方を教えていただきます。講師の平良一器(たいらかずき)さんは、元AHI職員で、現在は司法書士として活躍中です。

AHI(アジア保健研修所)

ホスピスの歳時記

ホスピスでは毎月、季節にちなんだ行事を行っています。行事によっていろいろですが、ボランティアは楽器の演奏やお菓子作りなどの協力をさせていただいています。この夏も7月のところてんや、9月のお月見団子などアイデアを出し合いつつ取り組みました。秋は患者さんがご家族やご友人と楽しめるようなコンサートを予定しています。

ボランティアグループ「紫苑」

初穂の言いたい放題

小児科 井手 初穂



おしまいを迎えて

実家の片付けをしています。両親が座っていた椅子は今も同じ場所にあります。思い出の写真はリビングに飾られ、家族が集まったお正月の時のままです。でも、二人の遺影がにこやかに笑っているだけで静かな家の中。思い出がたくさん詰まっている実家の片付けを、昨年の終わり頃から少しずつ始めました。最初のうちは、「あら、懐かしい」といろんなものを眺めて楽しんでいましたが、どの棚の中を覗いても、どの引き出しの中を覗いても、物がびつり詰まっ

ていて、事の重大さに気づいたのは、今年に入り春めいてきた頃でした。結婚当初からの分類された領収書と手紙、壊れた掃除機、母のウェディングドレス、乙女な宝箱、両親の卒業証書、私が小学校の時に書いた観察記録に絵日記。両親は、生ゴミ以外は捨てな

かったのでは?と思うほど、何もかもが置いてありました。「戦争を経験した世代は、みんなそのように物を捨てられないのだ」と、遺品の片付けを手伝うプロフェッショナルたちが言います。戦争中、家も物も食べ物もなくなってしまった本



Q&A 医療福祉相談室

よくあるお問い合わせの一部をご紹介します。

Q 退院後の療養生活について不安です。

A 退院支援専従・専任スタッフを中心に相談をお受けいたします。ご自宅での生活に困らないよう環境を整えたり、通院が難しくなったら医師や看護師がご自宅へ訪問し、診察させていただきます。ご希望に合わせて施設へのご紹介もいたします。

Q 訪問診察の流れはどうなっていますか?

A 通院が困難な患者さまのご自宅に医師がお伺いし、必要な治療や薬の処方を行います。訪問可能地域は日進・東郷・みよしです。その他の地域にお住まいの方でもご相談をお受けいたします。

お問い合わせ 地域医療連携室

TEL・FAX 0561-73-9179 (担当/川口、宇田[うだ])

【時間】月~金曜 9:00~17:00 土曜 9:00~12:30



園内の石窯で焼く本格ピザ、こだわりパスタのランチはおいしいと評判



庭を眺めながらのティータイムは至福の時間



外出できない人でも庭を楽しめる庭付きテーブル



愛知県日進市  
Tガーデン(竹内園芸)

美しい庭と  
おいしいお茶

静かで贅沢な時間



オーナー(園主)竹内正起さんと、お嬢さまで  
ガーデンプランナーの真奈美さん

**Tガーデン(竹内園芸)**  
【住所】愛知県日進市藤塚4-60-1  
【TEL】0561-56-1404  
【営業時間】  
9:00~18:00(日曜、祝日休み)  
t-garden-oniwa.com  
**cafe Tガーデン**  
【TEL】0561-72-1428  
【営業時間】金曜・土曜  
※ご予約をおすすめします。  
10:00~17:00  
(ランチタイム11:00~14:00)

心に語りかける庭

一歩足を踏み入れると、そこは自然のエネルギーに包まれた、やすらぎの空間。モリコロパーク(長久手市)やオアシス21(名古屋市)のブースのプロデュースから一般住宅のお庭まで、心に響く造園で人々を魅了する「竹内園芸」のフェイスであり、週末だけオープンする人気カフェでもあります。

じつは当院創設者の自宅の庭や、ホスピスの庭も、「竹内園芸」オーナーの竹内正起さんが手がけたもの。「樹木一本あれば、そこに別世界が生まれます。庭は自然というバランスのなか、さまざま表情を見せてくれる。人をそっと受け入れてくれる。私にとって感動の原点です」。

## 賛助会員募集のお知らせ

アメニティーの充実(施設環境、造園、園芸)、ホスピスでの諸行事、ホスピス相談の充実、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。(ご入会いただいた方には年1回の「ホスピスだより」と年4回の「みなみやま」をお送りいたします。)下記の口座に会費をお振り込みください。

郵便振替口座 00890-5-3757 口座名義 愛知国際病院ホスピス賛助会  
一口 1,000円(おいくらでも結構ですが、できましたら5口以上でお願いいたします)

## 編集後記

今回の「みなみやま」の写真はリオオリンピックの開催中に撮影しました。スポーツ選手にも劣らない職員の熱い思いを誌面から感じていただけましたか? 季節はすっかり涼しくなって、今年こそスポーツの秋を目指したいところですが、旬の味覚にはどうしても勝てません。そして次号は1月発行…もうお雑煮が頭に浮かびます。(諸石)

医療法人財団 愛泉会 愛知国際病院  
〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-31  
Tel.0561-73-7721(代) Fax.0561-73-7728  
<http://aisen-kai.jp/>



スマートフォンでも  
ご覧いただけます

これまでお寄せいただいているご意見・ご感想、大変感謝いたしております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。